

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4140999号  
(P4140999)

(45) 発行日 平成20年8月27日(2008.8.27)

(24) 登録日 平成20年6月20日(2008.6.20)

(51) Int.Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F I

A63F 7/02 326C

請求項の数 2 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願平9-365719	(73) 特許権者	000132747
(22) 出願日	平成9年12月22日(1997.12.22)		株式会社ソフィア
(65) 公開番号	特開平11-179016		群馬県桐生市境野町7丁目201番地
(43) 公開日	平成11年7月6日(1999.7.6)	(74) 代理人	100098073
審査請求日	平成15年10月3日(2003.10.3)		弁理士 津久井 照保
		(72) 発明者	井置 定男
			群馬県桐生市宮本町3-7-28
		審査官	大浜 康夫
		(56) 参考文献	特開平09-201455(JP, A)
			特開平08-038696(JP, A)
		(58) 調査した分野(Int.Cl., DB名)	
			A63F 7/02

(54) 【発明の名称】 弾球遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

発射された遊技球の移動をガイドする円弧状のガイドレールにより円形状に区画された遊技領域を表面に備える遊技盤と、遊技者側を前面側として機枠の前面に開閉可能に取り付けられる額縁状の前面枠と、前記前面枠の背面に固定されて上端部に設けた遊技盤載置部上に前記遊技盤を載置させるためのフレームボードと、該フレームボードと共に前記前面枠の背面に固定されて前記遊技盤を収納するための収納空部を形成する遊技盤収納フレームと、を備え、

前記遊技領域が前記前面枠の窓部から前記前面側に臨むように前記遊技盤を前記フレームボード上に載置させた状態で前記収納空部内に収納すると共に、前記遊技盤の表面に設けた遊技盤側係止部材と前記フレームボードの前記前面側表面に設けたボード側係止部材とを係止することにより、前記遊技盤をフレームボード上に定着する弾球遊技機において、

前記遊技盤は、

前記ガイドレールを挟んで前記遊技領域よりも外側となる位置に、当該遊技領域に設けられる障害釘を植設する際の位置基準となる基準穴が開設され、

前記遊技盤側係止部材は、

前記遊技盤の表面のうち前記ガイドレールを挟んで前記遊技領域よりも外側となる位置に取り付けられる取付ベース部と、

前記取付ベース部から前方に延出して帯状金属板製の前記ガイドレールを下方から支え

10

20

る支持腕部と該支持腕部の先端部を前記遊技領域側に折り返して形成されて前記ガイドレールの前方側縁部に係合する側縁係合部とから構成されたガイドレール固定部と、  
を備え、

前記基準穴を利用して前記遊技盤側係止部材の取付ベース部を前記遊技盤の表面に取り付けるように構成したことを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

前記遊技盤は、矩形状に形成されると共に、前記ガイドレールを挟んで前記遊技領域よりも外側となる位置に遊技盤前面構成部材が設けられ、

前記遊技盤側係止部材は、

前記取付ベース部から前方側へ段差をつけて屈曲させた状態で形成されて前記遊技盤前面構成部材と係合可能な遊技盤前面構成部材係止部を備え、

前記遊技盤前面構成部材は、

前記遊技盤前面構成部材係止部に対応する位置に、当該遊技盤前面構成部材係止部と係合する係合突部を有し、

前記係合突部が前記遊技盤前面構成部材係止部の裏面と前記遊技盤の表面との間に形成された空部に嵌合することにより、前記遊技盤前面構成部材の取付位置を定めることを特徴とする請求項 1 に記載の弾球遊技機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ガイドレールを用いて遊技領域を区画した遊技盤と、この遊技盤が載置されるフレームボードとを備え、遊技盤とフレームボードのそれぞれに設けた係止部材により、遊技盤をフレームボード上に定着するように構成した弾球遊技機に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の技術を、代表的な弾球遊技機であるパチンコ遊技機を例に挙げて説明する。

【0003】

このパチンコ遊技機は、ガイドレールにより遊技領域を区画した遊技盤を備えている。この遊技盤は、パチンコ遊技機の本体に対して着脱可能に構成してある。即ち、遊技盤を交換可能に構成してある。

このため、遊技盤は、パチンコ遊技機の遊技盤収納枠内にて、フレームボード上に載置された状態で収納してあり、さらに、この収納状態において、遊技盤表面に設けた遊技盤側係止部材とフレームボード表面に設けたボード側係止部材とを係止させることにより、遊技盤をフレームボード上に定着してある。

【0004】

このような遊技機では、遊技盤に取り付けたガイドレールは比較的薄い金属帯板で構成してあるため、このガイドレールの取り付けが困難であった。そして、この点に着目して改良を施した遊技機がある。

【0005】

例えば、遊技盤側係止部材の一部を前方に延出してガイドレール支持部を形成し、このガイドレール支持部によりガイドレールの底面を支持するようにした遊技機がある。

この遊技機では、ガイドレール支持部により、取り付けたガイドレールにおける幅方向の角度を所定の角度位置に規制して、発射された遊技球がガラス面等に衝突するのを防止している。

【0006】

また、特願平 8 - 33104 号に記載された遊技機では、遊技盤の下端部に位置する基端部分を下側に折り返して形成した止着部を備えたガイドレールと、この止着部を装着可能な装着片を設けたレール固定金具とを有している。この装着片は、遊技盤表面に取り付けられる取付ベース部を前方に切り起こして設けた板状の部分である。

そして、この遊技機では、レール固定金具を遊技盤表面に止着した後に、止着部により

10

20

30

40

50

レール固定金具の装着片を挾持して、ガイドレールをレール固定金具に取り付けるようにしている。

即ち、ガイドレールを、レール固定金具を介して間接的に遊技盤表面に取付可能に構成して、ガイドレールの取付位置及び取付状態のばらつきをなくすようにしている。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、ガイドレールの底面をガイドレール支持部により支持するように構成した遊技機では、パチンコ遊技機の組立作業時等において、ガイドレールに物が当接するなどしてガイドレールに上方へ移動する力が加わった場合には、ガイドレールが歪んでしまう虞があった。そして、ガイドレールが歪んだ場合には、この歪んだ部分で遊技球の進路が変わり、遊技球が遊技盤の前方を覆う前面ガラス等に衝突してしまう可能性があった。

10

【 0 0 0 8 】

また、特願平 8 - 3 3 1 0 4 号に記載された遊技機では、ガイドレールを取り付ける前に予めレール固定金具を遊技盤表面に止着しておかなければならず、作業に手間を要していた。特に、このレール固定金具はガイドレールの基端に取り付けるものであるので、ガイドレールの基端と遊技盤の下端部の間の狭い領域に対して正確な位置にレール固定金具を装着しなければならない。このため、ガイドレールの組付作業に熟練性をも必要とした。

また、ガイドレールの基端部分を折り返して形成した止着部で装着片を挾持するだけなので、強固に止めることが構造上できない。

20

さらに、ガイドレールの基端部分を折り返すので加工が難しく、又、ガイドレールの材質も限られてしまう。

【 0 0 0 9 】

そこで、本発明は、ガイドレールの歪みを防止できると共に、ガイドレールを容易に取り付けることができる弾球遊技機を提供することを目的とする。

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記した目的を達成するため提案されたもので、請求項 1 に記載のものは、発射された遊技球の移動をガイドする円弧状のガイドレールにより円形状に区画された遊技領域を表面に備える遊技盤と、遊技者側を前面側として機枠の前面に開閉可能に取り付けられる額縁状の前面枠と、前記前面枠の背面に固定されて上端部に設けた遊技盤載置部上に前記遊技盤を載置させるためのフレームボードと、該フレームボードと共に前記前面枠の背面に固定されて前記遊技盤を収納するための収納空部を形成する遊技盤収納フレームと、を備え、

30

前記遊技領域が前記前面枠の窓部から前記前面側に臨むように前記遊技盤を前記フレームボード上に載置させた状態で前記収納空部内に収納すると共に、前記遊技盤の表面に設けた遊技盤側係止部材と前記フレームボードの前記前面側表面に設けたボード側係止部材とを係止することにより、前記遊技盤をフレームボード上に定着する弾球遊技機において、

前記遊技盤は、

40

前記ガイドレールを挟んで前記遊技領域よりも外側となる位置に、当該遊技領域に設けられる障害釘を植設する際の位置基準となる基準穴が開設され、

前記遊技盤側係止部材は、

前記遊技盤の表面のうち前記ガイドレールを挟んで前記遊技領域よりも外側となる位置に取り付けられる取付ベース部と、

前記取付ベース部から前方に延出して帯状金属板製の前記ガイドレールを下方から支える支持腕部と該支持腕部の先端部を前記遊技領域側に折り返して形成されて前記ガイドレールの前方側縁部に係合する側縁係合部とから構成されたガイドレール固定部と、を備え、

前記基準穴を利用して前記遊技盤側係止部材の取付ベース部を前記遊技盤の表面に取り

50

付けるように構成したことを特徴とする弾球遊技機である。

【0011】

また、請求項2に記載のものは、前記遊技盤が、矩形状に形成されると共に、前記ガイドレールを挟んで前記遊技領域よりも外側となる位置に遊技盤前面構成部材が設けられ、

前記遊技盤側係止部材は、

前記取付ベース部から前方側へ段差をつけて屈曲させた状態で形成されて前記遊技盤前面構成部材と係合可能な遊技盤前面構成部材係止部を備え、

前記遊技盤前面構成部材は、

前記遊技盤前面構成部材係止部に対応する位置に、当該遊技盤前面構成部材係止部と係合する係合突部を有し、

前記係合突部が前記遊技盤前面構成部材係止部の裏面と前記遊技盤の表面との間に形成された空部に嵌合することにより、前記遊技盤前面構成部材の取付位置を定めることを特徴とする請求項1に記載の弾球遊技機である。

【0012】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。なお、以下の説明においては、代表的な弾球遊技機であるパチンコ遊技機を例に挙げて説明する。

【0013】

まず、パチンコ遊技機の全体的な構成について説明する。ここで、図1は、パチンコ遊技機1の正面図、図2は遊技盤8の取り付けを説明する分解斜視図である。

【0014】

図1に示すように、例示したパチンコ遊技機1は、パチンコ機本体2と、遊技カードに記憶された情報の読み書き等を行うカードユニット3とから概略構成してある。パチンコ機本体2は機枠4により囲われており、この機枠4の前方（遊技者側）には額縁状の前面枠5を開閉可能に取り付けてある。前面枠5の前方には、窓部に前面ガラス6（透明部材の一種）を保持した額縁状の前面カバー部材7を、前面枠5に対して開閉可能に取り付けてある。

【0015】

また、この前面枠5の窓部には、後方から臨ませた状態で遊技盤8を取り付けてある。具体的には、図2に示すように、この遊技盤8は、遊技盤収納フレーム10及びフレームボード11によって囲われた収納空部12内に、フレームボード11上に載置された状態で収納されている。なお、遊技盤8は、フレームボード11の上端部に設けた遊技盤載置部13上に載置された状態で収納されている。また、これらの遊技盤収納フレーム10とフレームボード11は、前面枠5の背面に前面枠5の窓部を塞ぐように後方から固定してある。

そして、収納空部12に収納された遊技盤8は、図5に示すように、遊技盤8の表面下端部に止着された遊技盤側係止部材14とフレームボード11の表面上端部に止着されたボード側係止部材15との係止によって、フレームボード11上に定着する（止める）ように構成してある。なお、遊技盤側係止部材14については、後で説明する。

【0016】

そして、図1に示すように、前面枠5の下方に隣接して、上皿17を前方に突設した開閉パネル18を、前面枠5に開閉可能に取り付けてある。また、開閉パネル18の下方には、発射操作部19と下皿20と灰皿21とを設けてある。

【0017】

次に、上記した遊技盤8の構成について詳細に説明する。ここで、図3は遊技盤8の正面図である。

【0018】

図3に示すように、遊技盤8の前面（即ち、遊技盤表面）には、細長い帯状の金属板を円弧状に曲げたガイドレール25を、遊技盤8の表面から前方に向けて起立させた状態で配設してあり、このガイドレール25により遊技領域26をほぼ円形状に区画している。

10

20

30

40

50

本実施形態では、このガイドレール 2 5 を、外側ガイドレール 2 7 と内側ガイドレール 2 8 とから構成してある。そして、外側ガイドレール 2 7 は、基端 2 7 a を遊技盤 8 の下端であって左右中央やや左寄りに、先端 2 7 b を遊技領域 2 6 における上部やや右側に位置させてあり、基端 2 7 a と先端 2 7 b の間に亘って円弧状に配設してある。なお、外側ガイドレール 2 7 の基端 2 7 a は、本願発明におけるガイドレールの傾斜下端に相当する。また、内側ガイドレール 2 8 は、主に遊技領域 2 6 の底部を区画する部材であり、その左端 2 8 a を遊技領域 2 6 における上部左側に、右端 2 8 b を遊技領域 2 6 における下部右側に位置させてあり、左端 2 8 a と右端 2 8 b との間に亘って円弧状に配設してある。

そして、発射された遊技球は、外側ガイドレール 2 7 と内側ガイドレール 2 8 との間に区画される発射球通路 2 9 内を、外側ガイドレール 2 7 に沿って移動して遊技領域 2 6 内に飛入する。

#### 【 0 0 1 9 】

遊技領域 2 6 の略中央には可変表示装置 3 1 を配設してあり、可変表示装置 3 1 の下方には始動口 3 2 とアタッカー（大入賞口）3 3 とを配設してあり、アタッカー 3 3 の下方、即ち遊技領域 2 6 の最下端には、何れの入賞口にも入賞しなかったアウト球を受け入れるアウト口 3 4 を設けてある。

この他に、遊技領域 2 6 には、複数の一般入賞口 3 5 を配設してあると共に、多数の障害釘 3 6 ... を植設してある。なお、図 3 では、いわゆる「命釘」と呼ばれる障害釘 3 6 ... のみ図示してある。

#### 【 0 0 2 0 】

そして、本実施形態において、これらの障害釘 3 6 ... は、外側ガイドレール 2 7 における基端部分の左側に開設した基準穴 3 7 を位置基準として植設してある。即ち、これらの障害釘 3 6 ... は、自動釘打ち装置により植設するが、その際に、装置に設けた位置決めピンを基準穴 3 7 と上端左寄りの基準穴 3 7 ' に嵌合させることにより、遊技盤 8 を所定位置にセットできるようにしてある。

これにより、障害釘 3 6 ... を植設する際において、装置の所定位置に遊技盤 8 を容易に且つ正確にセットすることができる。従って、セット作業を容易に行うことができる。

#### 【 0 0 2 1 】

また、遊技盤 8 における左下隅部には遊技盤前面構成部材 3 8 を設けてある。本実施形態における遊技盤前面構成部材 3 8 は、遊技盤 8 の美観を向上させるための装飾を行う装飾部材として機能する部材であり、外側ガイドレール 2 7 の外側、換言すれば、非遊技領域（即ち、遊技領域 2 6 よりも遊技盤 8 における縁部側の領域）における左下隅部とほぼ同じ形状の略三角ブロック状の部材である。なお、本実施形態では、この遊技盤前面構成部材 3 8 は合成樹脂により形成してある。

#### 【 0 0 2 2 】

この遊技盤前面構成部材 3 8 における下端部の右側であって、遊技盤前面構成部材 3 8 と外側ガイドレール 2 7 の基端 2 7 a との間には、遊技盤側係止部材 1 4 を設けてある。この遊技盤側係止部材 1 4 は、上記したようにボード側係止部材 1 5 が係止する部材であるが、本実施形態では、さらに、外側ガイドレール 2 7 の基端部分（基端 2 7 a とその近傍）を固定する部材として機能すると共に遊技盤前面構成部材 3 8 の縁部を係止する部材としても機能する。

#### 【 0 0 2 3 】

以下、遊技盤側係止部材 1 4 について詳細に説明する。ここで、図 4 は、遊技盤側係止部材 1 4 の構成を説明する図であり、（ a ）が正面図、（ b ）が底面図、（ c ）が前方側から見た斜視図である。

#### 【 0 0 2 4 】

本実施形態における遊技盤側係止部材 1 4 は、金属製の板片により形成してあり、下縁部 4 1 a と左縁部 4 1 b とが略直角に交差した略直角三角形形状の取付ベース部 4 1 と、この取付ベース部 4 1 の下縁部 4 1 a に設けた屈曲係止部 4 2 と、取付ベース部 4 1 の上縁部 4 1 c に設けたガイドレール固定部 4 3 と、取付ベース部 4 1 の左縁部 4 1 b に設けた

10

20

30

40

50

遊技盤前面構成部材係止部 4 4 とを備えている。

なお、屈曲係止部 4 2、ガイドレール固定部 4 3 及び遊技盤前面構成部材係止部 4 4 は、取付ベース部 4 1 と一体に設けてある。

【 0 0 2 5 】

取付ベース部 4 1 は、遊技盤 8 の表面に止着される部分であり、ビスが貫通する複数のネジ孔 4 1 d を開設してある。

屈曲係止部 4 2 は、本実施形態における第 1 係止部として機能し、ボード側係止部材 1 5 の係止リング 1 5 a ( 本実施形態におけるボード側係止部材 1 5 の係止部に相当 ) が係止する部分であり、取付ベース部 4 1 の下縁部 4 1 a から前方に突設されて略 V 字状に屈曲させた部分である。即ち、取付ベース部 4 1 の下縁部 4 1 a から前方斜め下向きに延設すると共に、その先端部を前方斜め上向きに屈曲させた部分である。

10

【 0 0 2 6 】

ガイドレール固定部 4 3 は、取付ベース部 4 1 の上縁部 4 1 c から前方に向けて支持腕部 4 3 a を延設し、さらに、支持腕部 4 3 a の先端部分を上方 ( 即ち、取付ベース部 4 1 とは反対方向 ) に向けて略 U 字状に折り返して側縁係合部 4 3 b を形成してある。なお、この側縁係合部 4 3 b は、外側ガイドレール 2 7 における基端部分の前方側縁を上下のがたつきなく保持可能なように、外側ガイドレール 2 7 の厚みに応じた上下隙間で折り返してある。

換言すれば、外側ガイドレール 2 7 における基端部分の前方側縁を側縁係合部 4 3 b によって巻き込むように、支持腕部 4 3 a の先端部分を外側ガイドレール 2 7 の上面側に折り返してある。

20

【 0 0 2 7 】

遊技盤前面構成部材係止部 4 4 は、本実施形態における第 2 係止部として機能する部分であり、取付ベース 4 1 の左縁部 4 1 b と連続させると共に取付ベース部 4 1 よりも前方側の段差をつけて屈曲させた状態で設けてある。即ち、遊技盤前面構成部材 3 8 の係合突部 3 8 a が嵌合可能な空部を、遊技盤前面構成部材係止部 4 4 の裏面と遊技盤 8 の表面との間に形成するように前方側に屈曲してある。

【 0 0 2 8 】

次に、上記した構成を有する遊技盤側係止部材 1 4 の遊技盤 8 への取り付けについて説明する。

30

【 0 0 2 9 】

この遊技盤側係止部材 1 4 は、障害釘 3 6 ... や可変表示装置 3 1、始動口 3 2、アタッカー 3 3 及び一般入賞口 3 5 といった役物等との相対位置関係を正確にするため、上記した基準穴 3 7 を利用して取り付けである。

即ち、図 6 に示すように、この基準穴 3 7 には、合成樹脂製の位置決め部材 4 5 を圧入してある。この位置決め部材 4 5 は、ビスと螺合可能な雌ネジ 4 5 a を中心部に設けた円筒状部材であり、基準穴 3 7 に圧入されることにより、雌ネジ 4 5 a が遊技盤 8 における所定位置に位置する。この基準穴 3 7 は、障害釘 3 6 を植設する際の位置基準であるため、遊技盤 8 における所定位置に開設されているからである。

【 0 0 3 0 】

40

そして、遊技盤側係止部材 1 4 を遊技盤 8 の表面に止着する場合には、まず、取付ベース部 4 1 に設けたネジ孔 4 1 d の一つを、上記した位置決め部材 4 5 の雌ネジ 4 5 a に位置合わせしてビスで固定すると共に、他のネジ孔 4 1 d ... についても所定位置に合わせてビス止めする。

このように、本実施形態では、障害釘 3 6 を植設する際の位置の基準となる基準穴 3 7 を利用して遊技盤側係止部材 1 4 を取り付けように構成したので、遊技盤側係止部材 1 4 を所定位置に確実に止着でき、遊技領域 2 6 内の障害釘 3 6 ... や役物等との相対位置関係、換言すれば、この遊技盤側係止部材 1 4 により取り付けられる外側ガイドレール 2 7 との相対位置関係を正確に定めることができる。さらに、取り付け用の止着孔を別途設ける必要がなくなり、遊技盤 8 の限られたスペースを有効に使用することができる。

50

## 【 0 0 3 1 】

なお、この遊技盤側係止部材 1 4 の止着作業は、外側ガイドレール 2 7 の基端部分を除いた部分を遊技盤 8 に取り付けただ後で行うことができる。

これは、ガイドレール固定部 4 3 の側縁係合部 4 3 b を、取付ベース部 4 1 とは反対方向に折り返してあるため、側縁係合部 4 3 b を外側ガイドレール 2 7 の基端部分の前方側縁に引っ掛けると、取付ベース部 4 1 は、ガイドレール固定部 4 3 を挟んで外側ガイドレール 2 7 とは反対側に位置し、外側ガイドレール 2 7 と当接しないからである。

## 【 0 0 3 2 】

次に、止着された遊技盤側係止部材 1 4 の機能について説明する。ここで、図 5 は、遊技盤 8 をフレームボード 1 1 上に定着した状態における遊技盤側係止部材 1 4 及びボード側係止部材 1 5 の拡大して示した正面図、図 6 は、図 5 における A - A 断面図である。

10

## 【 0 0 3 3 】

図 5 及び図 6 に示すように、この係止状態では、遊技盤側係止部材 1 4 の屈曲係止部 4 2 ( 即ち、V 字状屈曲部 ) には、ボード側係止部材 1 5 の係止リング 1 5 a が係止される。

## 【 0 0 3 4 】

ガイドレール固定部 4 3 は、支持腕部 4 3 a が外側ガイドレール 2 7 の基端部分の底面に沿って延在し、この基端部分を下方から支える。さらに、ガイドレール固定部 4 3 の側縁係合部 4 3 b は、外側ガイドレール 2 7 の基端部分の前方側縁部に係合して外側ガイドレール 2 7 を上下両方向に対しても押さえる。

20

このため、外側ガイドレール 2 7 は、ガイドレール固定部 4 3 により、上下方向の移動を規制された状態で支持されている。また、外側ガイドレール 2 7 は、前方に向いた起立状態、より詳しくは、外側ガイドレール 2 7 における幅方向の角度を所定の設置角度とした状態で固定される。

従って、外側ガイドレール 2 7 は、所定の止着状態を維持するので、発射された遊技球が正規の発射球通路から外れて前面ガラス 6 等に衝突するのを防止することができる。

また、外側ガイドレール 2 7 の基端部分に対して物が衝突する等して、上側から下側に向かう力や下側から上側に向かう力が加わったとしても、このガイドレール固定部 4 3 が外側ガイドレール 2 7 を上下両方向ともに支持して補強しているので、外側ガイドレール 2 7 が歪むのを防止することができる。

30

## 【 0 0 3 5 】

上記した遊技盤前面構成部材係止部 4 4 には、遊技盤前面構成部材 3 8 が嵌合する。即ち、遊技盤前面構成部材 3 8 における右縁部下方の奥側 ( 後方側 ) に設けた係合突部 3 8 a が、遊技盤前面構成部材係止部 4 4 の裏面と遊技盤 8 の表面との間に形成された空部に嵌合する。この嵌合により、遊技盤側係止部材 1 4 は、遊技盤前面構成部材 3 8 ががたつくのを防止する。

また、遊技盤前面構成部材 3 8 の取付位置は、係合突部 3 8 a と遊技盤前面構成部材係止部 4 4 とが当接することにより定められる。即ち、作業者は、遊技盤前面構成部材 3 8 の係合突部 3 8 a を遊技盤前面構成部材係止部 4 4 に摺接させたり、遊技盤前面構成部材係止部 4 4 の裏面と遊技盤 8 の表面との間に形成された空部に嵌合したりするなどにより、遊技盤前面構成部材係止部 4 4 を利用して遊技盤前面構成部材 3 8 の取付位置を定めることができる。このため、位置決め作業が容易になり、作業性の向上を図ることができる。

40

## 【 0 0 3 6 】

このように、本実施形態の遊技盤側係止部材 1 4 は、本来の機能である遊技盤 8 とフレームボード 1 1 とを係止する機能の他に、外側ガイドレール 2 7 の基端部分を位置決めする機能並びに外側ガイドレール 2 7 の歪みを防止する機能と、遊技盤前面構成部材 3 8 の取付位置を定める機能とを備えている。

このため、遊技領域 2 6 を極力広く設けるために狭く設けざるを得ない非遊技領域を有効に使用することができる。

50

## 【 0 0 3 7 】

なお、上記した実施形態では代表的な弾球遊技機であるパチンコ遊技機を例示したが、このパチンコ遊技機以外にも、アレンジボール遊技機、雀球遊技機、パチコン遊技機等、遊技領域をガイドレールにより区画し、尚且つ、遊技盤表面に設けた遊技盤側係止部材とフレームボード表面に設けたボード側係止部材とにより、フレームボード上に遊技盤を定着する弾球遊技機であれば、本発明を適用することができる。

## 【 0 0 3 8 】

## 【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、次の効果を奏する。

即ち、遊技盤側係止部材は、前方に延出する支持腕部と該支持腕部の先端部を上方に折り返して形成される側縁係合部とから構成されたガイドレール固定部と、遊技盤に止着する取付ベース部とを備えたので、遊技機の組立工程等において、ガイドレールが歪み難くなる。また、ガイドレールの取付位置や取付状態のばらつきを無くすこともできる。さらに、ガイドレールの傾斜下端に限らず支持することもできる。また、ガイドレール固定部の側縁係合部をガイドレールの前方側縁に引っ掛けた状態で遊技盤側係止部材を遊技盤表面に止着することができる。このため、遊技盤側係止部材を装着するにあたり、先にガイドレールを取り付けておき、その後に遊技盤側係止部材を遊技盤表面に止着することができる。従って、取付作業が容易になり、作業性の向上が図れる。

## 【 0 0 3 9 】

また、遊技盤の所定位置に、遊技領域に設けられる障害釘を植設する際の位置基準となる基準穴を開設し、該基準穴を利用して遊技盤側係止部材を取り付けるように構成したので、遊技盤側係止部材を所定位置に確実に止着でき、遊技領域内の障害釘や役物等のとの相対位置関係、換言すれば、この遊技盤側係止部材により取り付けられる外側ガイドレールとの相対位置関係を正確に定めることができる。さらに、取り付け用の止着孔を別途設ける必要がなくなり、遊技盤の限られたスペースを有効に使用することができる。

## 【 0 0 4 0 】

そして、遊技盤は、矩形状に形成されると共に、前記ガイドレールを挟んで前記遊技領域よりも外側となる位置に遊技盤前面構成部材が設けられ、前記遊技盤側係止部材は、前記取付ベース部から前方側へ段差をつけて屈曲させた状態で形成されて前記遊技盤前面構成部材と係合可能な遊技盤前面構成部材係止部を備え、前記遊技盤前面構成部材は、前記遊技盤前面構成部材係止部に対応する位置に、当該遊技盤前面構成部材係止部と係合する係合突部を有し、前記係合突部が前記遊技盤前面構成部材係止部の裏面と前記遊技盤の表面との間に形成された空部に嵌合することにより、前記遊技盤前面構成部材の取付位置を定めるので、遊技盤前面構成部材係止部により遊技盤前面構成部材をがたつきなく取り付けることができる。即ち、遊技盤側係止部材に複数の機能を付与したので、遊技盤表面の限られた領域を有効に利用することができる。

また、この遊技盤前面構成部材係止部を遊技盤前面構成部材の取付位置の基準とすることもでき、遊技盤前面構成部材の取り付けを容易に行わせることもできる。

## 【図面の簡単な説明】

【図 1】 パチンコ遊技機の正面図である。

【図 2】 遊技盤の取り付けを説明する分解斜視図である。

【図 3】 遊技盤の正面図である。

【図 4】 遊技盤側係止部材の構成を説明する図であり、( a ) が正面図、( b ) が底面図、( c ) が前方側から見た斜視図である。

【図 5】 遊技盤とフレームボードとが係止した状態における遊技盤側係止部材及びボード側係止部材を拡大して示した正面図である。

【図 6】 図 5 における A - A 断面図である。

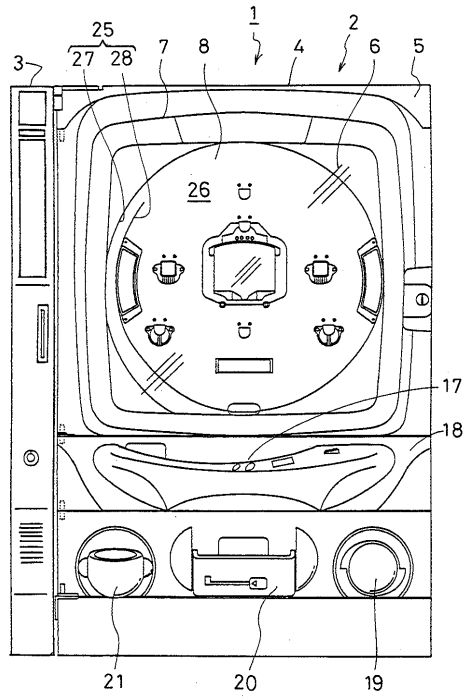
## 【符号の説明】

- 1 パチンコ遊技機
- 2 パチンコ機本体

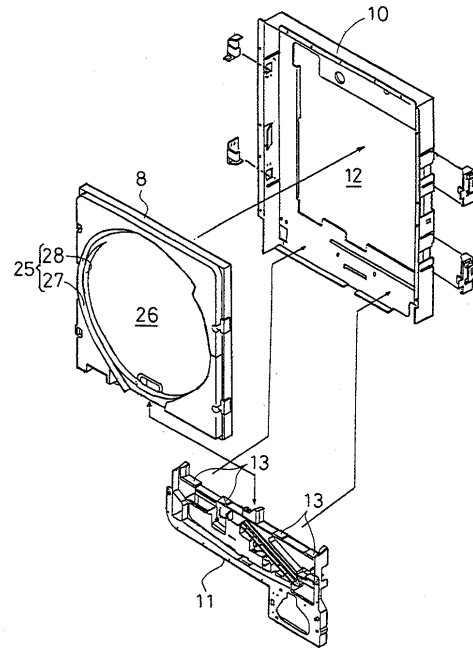


3	カードユニット	
4	機枠	
5	前面枠	
6	前面ガラス	
7	前面カバー部材	
8	遊技盤	
10	遊技盤収納フレーム	
11	フレームボード	
12	収納空部	
13	遊技盤載置部	10
14	遊技盤側係止部材	
15	ボード側係止部材	
15a	係止リング	
17	上皿	
18	開閉パネル	
19	発射操作部	
20	下皿	
21	灰皿	
25	ガイドレール	
26	遊技領域	20
27	外側ガイドレール	
27a	基端	
27b	先端	
28	内側ガイドレール	
28a	左端	
28b	右端	
29	発射球通路	
31	可変表示装置	
32	始動口	
33	アタッカー	30
34	アウト口	
35	一般入賞口	
36	障害釘	
37	基準穴	
38	遊技盤前面構成部材	
41	取付ベース部	
41a	下縁部	
41b	左縁部	
41c	上縁部	
41d	ネジ孔	40
42	屈曲係止部	
43	ガイドレール固定部	
43a	支持腕部	
43b	側縁係合部	
44	遊技盤前面構成部材係止部	
45	位置決め部材	
45a	雌ネジ	

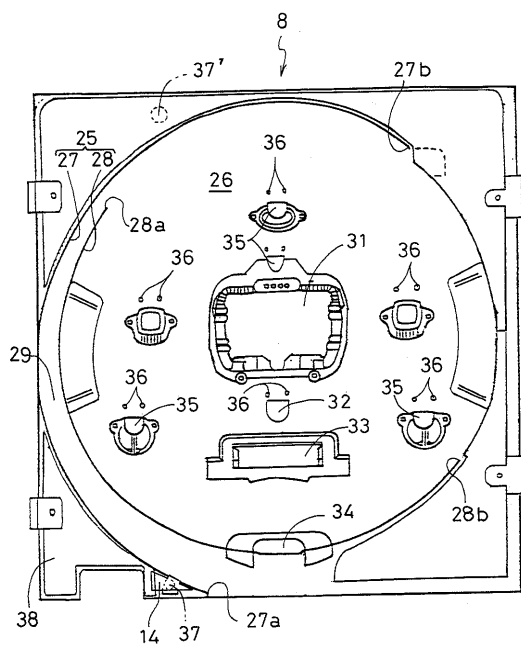
【図 1】



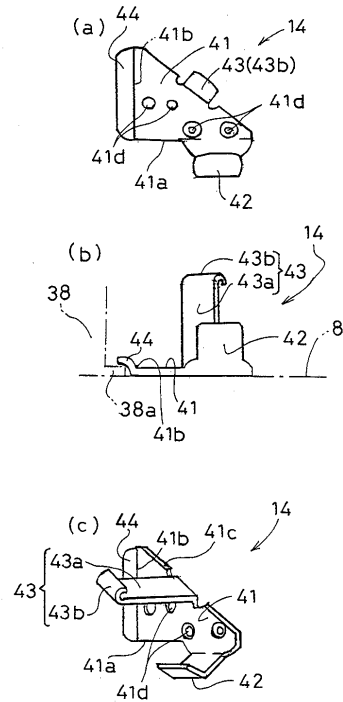
【図 2】



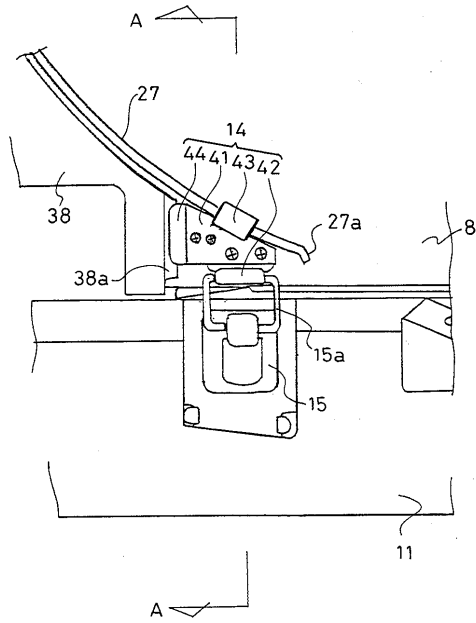
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

